

## 第5学年1組 図画工作科学習指導案

豊明市立豊明小学校 教諭 小崎 真

- 1 題材名 『夜のカフェテラス』に描かれた内容を探ろう
- 2 日時・場所 平成17年5月18日(水) 第3時間目 5の1教室
- 3 ねらい

- ・作品から見つけたことや感じたことをもとにしながら、作品の内容を想像力豊かに読み取ることができる。
- ・スケッチ版をもとにして、配色を工夫しながら水彩絵の具で着色することができる。
- ・作品をもとに想像力を働かせて、グループで協力しながら「お話づくり」ができる。
- ・意欲的に作品の鑑賞に取り組み、ゴッホや他の作家の作品を鑑賞しようとするすることができる。

### 4 題材観および指導観

ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ (1853~1890年) の生涯については、「炎の人」として、文献あるいは映画などによってよく知られている。また、作品には「はっきりとした輪郭線」「鮮やかな色彩」「うねるような独特の描線」が描かれており、一目でゴッホの作品とわかる特徴がある。今回愛知県美術館で開かれる「ゴッホ展」は、子どもたちにとってゴッホの本物の作品に直に触れる大切な機会である。

本実践では、作品の背景にある情報を知識として伝達することを目的とせず、あくまでも鑑賞者である子どもたちと作品との関係を重視し、アレンスがやっているように、まずは作品の前に子どもを座らせ、思いついたことを自由に発言させたい。その発言から、作品に本質に迫っていくような授業を展開すれば、教師主導の知識獲得型の授業から少しでも脱却できるのではないかと考えた。

とはいうものの、子どもたちが作品から受けた印象だけを取り上げて、授業を進めていくことは難しい。なぜなら、子どもたちは個々で作品から受け取った感覚で作品をとらえてはいるものの、その内容は十分整理はされておらず、表面的で独りよがりな見方にとどまってしまうがちだからである。そのため、作品の深い意味を考えることなく、「受け入れられない作品」「わけがわからない作品」と片づけられてしまう可能性がある。これでは鑑賞の本当のおもしろさや楽しさを味わうことは難しい。そうならないためにも、指導者は作品の教材化を綿密に行う必要がある。子どもたちの気づきを受け止めて、それを単なるモノローグに終わらせず、授業での対話を通して共有化させたり、必要に応じて効果的に資料を提示したりしながら、継続的かつ段階的に内容を深めていく必要があると考える。

そこで、今回、学級、学年全体で鑑賞を行う作品として『夜のカフェテラス』を取り上げたいと考えた。『夜のカフェテラス』は、ゴッホが夜の町にキャンパスを持ち出して描いた作品である。星がまたたく夜に、カフェのガス灯がテラスと石畳を美しく照らし出している。その情景が独特の鮮やかな色づかいで叙情的に描かれている。この作品から子どもたちに気づかせたいのは、「色彩」のすばらしさである。そこで、最初は作品を提示せず、まずはゴッホ自身が描いたスケッチ版を紹介する。そのイメージを大切にさせながら水彩絵の具で着色させたい。次に油絵で描かれた色彩版と比較することで、子どもたちの色や情景と、ゴッホの描いた色や情景との違いに気づかせたい。

また、指導者が事実を紹介し、個人的な読み取りを押しつけるのではなく、子どもたちが作品から感じ取ったことを中心にして授業を作り上げていきたいと考え、「お話作り」を行うことにした。実際に美術館で作品を鑑賞し、感じたことをもとにしながらグループごとにお話をつくらせることで、作品をより深く見つめさせ、子どもたちが作品から感じ取った内容を言葉で楽しく表現させたい。

### 5 児童観

子どもたちにスケッチ版の『夜のカフェテラス』を見せ、自分が見つけたことや気がついたことを書き出させた。子どもたちの考えをいくつか取り上げると、次のようになる。

まずは「情景」についてである。子どもたちは街の様子として「静かなまち」「まちの明るい雰囲気がない」「さみしいふうけいだ」「色がなくて暗く感じる」「人が少ない」と、物静かで寂しい雰囲気を感じ取っていた。また、白黒で描かれた画面から、つまり「夜か朝かわからない」「太陽がない」と答えていた。

次にカフェについてである。多くの子がカフェのイスやテーブルに目を向け、「つくえや、イスがたくさんある」と答えた。また、「外国のまちみたい」「あかりがすてき、店がおしゃれ」あるいは「ディズニーランドみたい」と、自分たちの身近にはない文化を感じとっていた。中にはオープンカフェについて「レストランのテーブルやイスが道路まで出ている、通行する車のじゃまにならないかなあ」としたり、石畳については「道はしばふ(草、わら)がはえている」としたり、子どもたちなりに自分の経験や感性で読み取っていた。

最後は表現についてである。スケッチ版は線だけで描いてあるので、「こわい感じがする」「人が何で黒いの?」「人がのっぺらぼう」「男か女かわからない」と、省略されたあいまいな表現に対して不安感を示したり、「何のためにかいたのかわからない」と主題に関わる考えを持っていたり、「だれがかいたのだろう」と作者に関わる考えを持つ子もいた。中には「奥行き感がある」と透視図法について気づいている子もいた。さらに、色のついていないスケッチに「色がぬりたくなる」と書いている子もいた。

そこで、スケッチ版の作品に着色をすることで、子どもたちがスケッチから感じ取った言葉にならない印象を表現できるのではないかと考え、水彩絵の具で着色することにした。スケッチ版から受けたイメージをもとにしているため、「石畳」「草畑」「草畑」になっていたり、昼間の様子になっていたり、夜空に花火をあげたりする子もいたが、それぞれが持っている知識や経験を頼りに、楽しそうに着色を行っていた。

本時の授業では、スケッチ版から気がついたことを発表させ、「どうやって色をぬったらよいか悩んでいる作者にアドバイスをしよう。」と投げかけることにした。子どもたちがそれぞれ感じものをもとに実際に着色した

ことで、具体的に作品について語ることを期待したい。さらに、「作者が色をぬった作品が完成して、美術館に来ているよ。」と投げかけ、どのような作品に仕上がったかを実際にみることで、スケッチ版と色彩版の違い、あるいは子どもたちが着色したものとゴッホの着色したものとの違いを考えさせたい。その違いを見ていくことで、子どもたちがゴッホの制作過程をたどりながら作品の内容を深めていくことを期待したい。

また、子どもたちにアンケートをとったところ、美術の作品や美術館に対する意識は決して高くないが、作品を実際に見てみたいと考えている子が多い。本実践を通して、作品に触れる楽しさを味わわせることで、子どもたちが「作品をもっと見てみたい」「自分もかいたりつくったりしてみたい」と主体的に動き出すことを期待したい。

## 6 指導計画（9時間完了）

### （1）出会いの段階（スケッチ版から絵の要素の洗い出し）

#### 「この絵には何が描かれているんだろう」 5/6(金)（1時間）

・ゴッホの『夜のカフェテラス』（スケッチ版）を取り上げて、見つけたことや気がついたこと 疑問に思ったことを書き出す。

#### 「絵に色をつけてみよう」(スケッチ版に着色) 5/11(水)（2時間）

・個々で作品から感じたイメージをもとに着色する。（水彩絵の具を使用）

### （2）意見交流の段階1（スケッチ版をもとにした対話型鑑賞）

#### 「何が描かれているか、みんなで話し合ってみよう」 5/18(水)（2時間、本時1/2）

・個々に感じ取ったことをもとに、作品の内容について意見を出し合う。  
・自分の作品をもとにしなが、作者にアドバイスする形で作品について意見を出し合う。

### （3）色彩版との出会いの段階（色彩版から絵の要素の洗い出し）

#### 「美術館で作品を鑑賞しよう」 ※校外学習:愛知県美術館での鑑賞(学芸員さんによるギャラリートーク)（1時間）

・ゴッホの作品を鑑賞しよう。9/20(火)予定

### （4）意見交流の段階2（色彩版をもとにした対話型鑑賞）

#### 「作品から気がついたことを発表しよう」

・『夜のカフェテラス』の油彩版を見ながら新しく気がついたことを発表する。

### （5）創造的な鑑賞の段階（お話づくり、アートゲーム）

#### 「作品をもとにして、グループでお話をつくろう」（以上1時間）

・話し合った内容をもとにして自分たちでお話をつくってまとめる。（お話づくり）  
・できあがったお話を発表する。（以上愛知県美術館での活動）

### （6）主体化の段階（調べ学習を進める、発表会）

#### 「ゴッホについて調べよう」 ※文献、インターネットでの調べ学習（2時間）

・個々で課題を立て、文献やインターネットで調べてまとめる。

## 7 本時の指導

### （1）本時の目標

・『夜のカフェテラス』の作品から見つけたことや気がついたことなどを、具体的に発言できる。  
・『夜のカフェテラス』のスケッチ版に自分で着色したものを参考にして、作者にアドバイスする形で作品に対する自分の考えを発言することができる。

### （2）準備

児童・・・探検バック、ワークシート、自分の作品、スケッチ版（未着色のもの）

教師・・・ワークシート（感想を記入するもの）、記録用デジタルカメラ、デジタルビデオ

### （3）指導過程


	学習内容	児童の活動	教師の支援	〇評価
	<b>スケッチ版から気がついたことを発表してみよう</b>			
問題をつかむ	○『夜のカフェテラス』のスケッチ版から気がついたことを発表する。	※予想される児童の意見 <b>カフェについて</b> ・店の外に、テーブルやいすがある。 <b>人物について</b> ・店員さんがいる。 ・お茶を飲んでいる人がいる。 ・店にいる人が少ない。 <b>その他の情景について</b> ・高いビルが立ち並んでいる。	・着色した作品の良さを認め、励ましたい。 ・どの考えも正しいことを伝え、認めていきたい。 ・スケッチ版の拡大図を掲示する。	○スケッチ版から気がついたことを意欲的に発言できたか、発言内容と表情から判断する。 <b>（鑑賞の能力）</b>
5分	<b>これからこの作品をどう仕上げていったらよいか 作者にアドバイスしてあげよう</b>			
作	○『夜のカフェテラス』のスケッチ版から考えた自分たちの思いを発表する。	※予想される児童の意見 <b>背景について</b> ・空は昼間にしたほうがいい。	・この作品の作者は、このスケッチ版をもとにして色をぬって絵を描こうとしているが「どうやって描いていったらよいか	

<p>品を共有する</p> <p>25分</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜の場合だと、暗くなりすぎるから、花火をあげたほうがいい。</li> <li>・時間がいつかわからないから、色をぬってはっきりさせたほうがいい。</li> </ul> <p><b>カフェについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いすの空いているところが多いから、もっと人を増やしてあげたほうがいい。</li> </ul> <p><b>人物について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人がだれかわからないから、目や口や鼻をちゃんとかいたほうがいい。</li> </ul>	<p>悩んでいる」とし、子どもたちの考えを出させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそう考えるか、理由をできるだけ言わせたい。</li> <li>・子どもたちの考えをまとめながら黒板に板書したい。</li> <li>・意見が出にくい場合は、グループで話し合ってもよいことを伝える。</li> </ul> <p>○表現の意図を明確にしながらかの考えを発表できたか、発言内容から判断する。</p> <p><b>(発想と構想の能力)</b></p>
<p>自分の絵を説明する</p> <p>10分</p>	<p>○自分で着色した作品について、説明することができる。</p>	<p><b>自分の作品について、作者に手紙で説明しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の作品は夜をイメージしています。灯りをともして、少しでも明るくしようと思います。ぜひいい作品をつくりあげてください。</li> <li>・ぼくの作品は夕焼けをイメージしています。これからご飯を食べに来ている人をたくさん描きたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが書いた作品について、手紙で作者に伝えることを紹介する。</li> <li>・ワークシートに自分の作品について書かせ、考えをまとめさせたい。</li> <li>・授業で話し合った内容を書いてもよいことを伝える。</li> <li>・数名指名して発表させたい。</li> </ul> <p>○自分の作品について説明することができたか、ワークシートと発表内容から判断する。</p> <p><b>(鑑賞の能力)</b></p>
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>○授業の振り返りをする。</p>	<p><b>今日の授業で感じたことを書こう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで作品について考えることが楽しかった。</li> <li>・おもしろいアドバイスが出てきて楽しかった。</li> <li>・いろんな絵の見方があるのがおもしろかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに、授業の感想を書かせる。</li> </ul> <p>○本時の授業に、意欲的に取り組むことができたか、ワークシートの内容から判断する。</p> <p><b>(関心・意欲・態度)</b></p>

**(4) 評価**

『夜のカフェテラス』のスケッチ版から、色彩と内容について意欲的に考えを深めることができたか、発言内容、授業の様子、ワークシートのことばから判断する。

**(5) 板書計画**

<p><b>気がついたこと</b></p> <p><b>カフェについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の外にテーブルやいすがある。</li> </ul> <p><b>人物について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店員さんがいる。</li> <li>・お茶を飲んでいる人がいる。</li> <li>・店にいる人が少ない。</li> </ul> <p><b>情景について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いビルが立っている。</li> </ul>		<p><b>作者にアドバイスしてあげよう</b></p> <p>空は昼間にしたほうがいい。</p> <p>夜の場合、暗くなりすぎるから、花火をあげたほうがいい。</p> <p>時間がいつかわからないから、色をぬってはっきりさせたほうがいい。</p> <p>いすの空いているところが多いから、もっと人を増やしてあげたほうがいい。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------